

糖鎖に関する論文掲載のお知らせ

2016年2月24日

国立研究開発法人理化学研究所田中生体機能合成化学研究室の田中克典准主任研究員らの国際共同研究グループは、タンパク質であるアルブミンに対して、さまざまな構造を持つ当社の糖鎖「アスパラギン結合型糖タンパク質糖鎖(N-結合型糖鎖)」をクラスター化することにより、マウス内での排出経路を制御したり、肝臓の特定の細胞を高度に認識したりすることに成功し、英国のオンライン科学雑誌『Scientific Reports』(2月23日付け:日本時間2月23日)に掲載されましたのでお知らせいたします。

【論文タイトル】

Visualizing Trimming Dependence of Biodistribution and Kinetics with Homo- and Heterogeneous N-Glycoclusters on Fluorescent Albumin

Scientific Reports 6, Article number: 21797 (2016)

doi:10.1038/srep21797

【論文著者】

Akihiro Ogura, Tsuyoshi Tahara, Satoshi Nozaki, Koji Morimoto, Yasuhiko Kizuka, Shinobu Kitazume, Mitsuko Hara, Soichi Kojima, Hirotake Onoe, Almira Kurbangalieva, Naoyuki Taniguchi, Yasuyoshi Watanabe & Katsunori Tanaka

【理化学研究所プレスリリース(2月23日発表)】

「生体内部を高度に認識できる糖鎖複合体」

http://www.riken.jp/pr/press/2016/20160223_3/

株式会社糖鎖工学研究所は、国立研究開発法人理化学研究所との試料提供契約に基づき糖鎖を提供しております。今後も、糖鎖を用いた創薬研究や医療診断分子の開発に貢献できるよう積極的に取り組みを進めてまいります。

株式会社糖鎖工学研究所 事業管理部

〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町 134 京都リサーチパーク 1 号館 109 号室

Tel:075-315-9218 Fax:075-315-9225 Email:glytech-info@glytech.jp

Website: www.glytech.jp